

平成 26 年度 議会報告と意見交換会における「市に対する意見・要望及び回答」

番号	意見・要望	市の回答
1	<p>ごみの分別が悪い。各町内に指導してほしい。</p> <p>不適正のごみがいつまでも回収されない。ごみ分別の徹底周知をしてほしい。また、回収しないごみのその後の処理を教えてください。</p> <p>ごみの分別方法が変わったが、パンフレットだけでなく、地域に出向いて説明してほしい。</p>	<p>分別方法につきましては、これまでの広報あかびらの掲載のほか、本年3月に全世帯に配布した「あかびら暮らしのガイドブック」の中で、ゴミの分別と出し方及び分別辞典で詳細をお知らせしておりますが、ご不明な点があれば、お電話でご照会頂くか、また、町内会等よりご要望があれば、「出前講座」の形でご説明の場を設けております。</p> <p>不適正ごみにつきましては、不適正シールを貼り、啓発しておりますが、適正なゴミの出し方に改善されない場合は、やむを得ず回収しております。</p>
2	<p>赤間1区・2区の空地の使い道は？</p>	<p>赤間2区は公営住宅の跡地で、赤間1区は旭団地用地として現在使われておりますが、低層住居専用地域として指定を受け、用途地域の中で最も厳しい規制がかけられており、今後、用途地域の変更を含め、どのように利用していくか検討してまいります。</p>
3	<p>旧平岸小学校、中学校の維持管理がずさん（草刈り等）である。また、今後両施設（特に旧小学校）はどのように取り扱うのか。</p> <p>旧住友小学校は今後どう使われるのか。</p>	<p>旧平岸中学校、旧住友赤平小学校については、建物が耐震化基準を満たしていないため、財政状況を見極めて解体する予定となっております。</p> <p>旧平岸小学校については、建物の耐震化基準を満たしており、災害時の避難施設として活用すると共に、日常的な使用方法を検討中です。</p> <p>なお、未使用施設に関しましては、防犯並びに景観等を考慮しながら維持管理に努めてまいります。</p>

4	<p>高齢者対策として、入所施設がほしい。愛真ホームには入れない。</p> <p>エルムハイツ・愛真ホーム等、特養老の待機者を考慮し、施設を増やしてほしい。待機者を正確に掴んで、政策に活かしてほしい。</p>	<p>市内の各高齢者施設の入所待機者については、定期的に調査し状況を把握しております。</p> <p>エルムハイツ及び愛真ホームの両施設の重複申し込みを除く実待機者数は約100名となっておりますが、今後、特養の入所基準が変更となり、介護度が3以上の者が対象とされると40名程度のみが基準に該当した待機者となります。</p> <p>また、施設を増設すると介護給付金が増加することから、介護保険料の大幅な上昇につながり、年金が主たる収入の高齢者にとっては、負担が重いとの苦情も多く寄せられており、施設増設の必要性は理解しつつも、保険料が大幅な上昇にならないようバランスを取りながら、増設等の施設整備を進めることが重要となります。</p>
5	<p>愛真ホームの待機期間が長すぎる。増床の予定はないか？</p> <p>愛真ホームは今後どうするのか。</p> <p>愛真ホームの増床、早急をお願いします。</p>	<p>施設の入所順位は必ずしも申し込み順とは限らず、入所希望者の介護度と医療や介護を受けている状況等により、総合的に入所判定を行い決定しているため、介護度が軽く介護サービス等を受けることにより、在宅で暮らせている方等は入所順位が下位となってしまいます。</p> <p>施設は開設後36年が経過して老朽化し、施設改善が課題となっておりますが、増床については介護保険料の上昇にもつながるため、慎重に検討しなければなりません。</p>
6	<p>独居老人世帯の把握をし、万が一の時に備え、行政や町内会等が情報を共有する必要があると思われる。</p> <p>行政は縦割り体制のため、情報共有に時間が掛かり過ぎる。</p>	<p>独居高齢者の実態については、民生委員等の協力を得て把握しており、支援や見守りが必要な高齢者には、地区担当保健師や地域包括支援センター職員等が訪問し、医療、介護の利用に結びつける等の支援を行っております。</p> <p>また、状況に応じて地域の方々の協力を得て見守りを行っていただくために、情報の提供を行っております。</p> <p>すべての独居高齢者の情報を町内会等に提供するには、個人情報管理するうえで解決すべき課題もあり、今後、条例規則等の検討を行ってまいります。</p>

7	<p>障がい者に出している「タクシー券」の支給を高年齢者に対してもお願いしたい。</p>	<p>本事業は、重度身体障害者（児）でバス等の公共交通機関を利用することが困難な方に対して、通院等の経済的負担の軽減と福祉の増進を図ることを目的として実施しています。</p> <p>また、重度障害であっても、上肢障害や聴覚障害は移動には制限がないことから助成の対象外となっているなど、本制度の趣旨をご理解ください。</p>
8	<p>ゆったりのお迎えについて、帰りの便が午後2時まで待たなければならない。早く帰れるよう帰りの便を増やしてほしい。</p>	<p>保養サービスバスは、保養事業のため、温泉に浸かり一定程度ゆったりとお過ごしいただき保養されることを目的としてバスを運行しております。運行時間については、利用者の皆様の利便性を考えて設定しており、帰りの便を増便するには、人件費や燃料代の負担が増えることから、サービスとしての運行は難しい状況です。</p>
9	<p>クラブ活動で遅くなると国道のバス停から家までの間（大穰寺付近の踏み切りから新町・栄町に上る道路）、防犯灯等もない所もあり、危険である。子供たちの意見を参考に防犯対策に努めてほしい。また、スクールバスの利用はできないか。</p>	<p>茂尻地区の中学生は、今年度から路線バスでの通学となりましたが、ご指摘の地域の生徒については、より安全な通学路として、利用生徒の多い茂尻市街寄りのもう一つの停留所も選択可能と思いますので、ご希望があればご相談ください。</p> <p>なお、スクールバスの利用については、従前の市のスクールバスを利用した場合の運行経路と変更ございませんのでご理解をお願いいたします。</p>
10	<p>多くの住民が使っている私道（桜木町の生活道路）について、除雪・環境整備など、市で管理できないか。</p>	<p>現在、市道及び市有公衆用道路の除雪等を行っておりますが、年間1億数千万円の費用を要しております。新たな私道の除雪等の実施につきましては、市内に同様の箇所が多く多額の費用を要することから難しいと考えております。</p>
11	<p>現在、山手交差点付近の道路の改修工事をしているが、ロードヒーティングにならないと聞いている。本当に大丈夫なのか。</p>	<p>道道赤平滝川線の改良工事により、市道交差点部分が現状より低くなることから、擦り付けのため市道を延長し勾配緩和を図っており、従前よりは改善された状態で道道に接続されておりますので問題はないと考えております。また、路面凍結により滑りやすい状況になった場合は、これまで同様、滑り止め対策として砂散布も行っております。</p>

12	<p>独歩苑の樹木は古く、折れたものもあり、維持管理が危険であるため、市で環境整備（樹木の剪定等）をしてほしい。</p>	<p>公園の樹木管理につきましては、倒木等の危険の恐れや枝折れ等により景観が著しく損なわれているような場合は、伐採や剪定を行っておりますので、状況を見ながら対応を検討してまいります。</p>
13	<p>滝川市は空き家対策として、強制撤去が出来るようにした。つぶれている家があると景観的にも大変みっともない。プライバシーの問題があり、対策も大変と思われるが市の考え方を聞きたい。</p>	<p>全国的に空き家対策条例を制定する市町村が増えてきましたが、強制撤去については、費用の徴収が難しいことや固定資産税の優遇措置がなくなること等から、殆ど行われていない状況です。</p> <p>当市におきましては、除却費用の助成など実施しているほか、ご相談を受けた場合、所有者に適正管理をお願いするなど対応してきているところであります。</p> <p>空き家条例の制定につきましては、現在、検討しているところでありますが、国は今秋の臨時国会に空き家対策法案提出を目指しているとの報道もあり、その動向を注視しているところであります。</p>
14	<p>住友石炭からの借地に、何箇所か借地料を払っているが、この先の見通しはどうか。</p>	<p>旧住友赤平小学校や旧スポーツセンターなどが借地となっており、休廃止された公共施設は基本的に解体する予定ですが、解体費用も多額なため実施時期については、財政状況を見極めながら検討してまいります。</p>
15	<p>地元で手術をしたいと思うが、麻酔医の常勤の可能性はどうか。</p>	<p>手術後の経過観察やご家族のお見舞い、また通院治療や回復期リハビリなどを考えると、地元で手術ができ経過観察や術後の治療を行うことが望ましいと考えます。</p> <p>しかし現在、麻酔科医についても医師確保が大変厳しい状況であり、あわせて当院の年間手術件数などを考慮すると、効率的にも経营的にも非常勤の麻酔科医を他院から派遣していただくことが最善と考えております。</p>